

じそんのかね

自尊の鐘



蕪崎西中学校 学校たより
2019. 8. 23 N012
発行責任者 校長 秋澤英俊

「人を敬い、いつくしみ、自らをたつとび高める」、校訓『敬愛自尊』のもとに、毎朝鳴らされる「自尊の鐘」。今日をどのように過ごし自分を高めていくのか、鐘の音を聴きながら「理想をめざし日に進む」(校歌)、生徒たちの成長の姿をお知らせします。



「心意気に感じる!」-支え合い成長する2学期に!

昨日から2学期が始まりました。それぞれの夏休みが終わり、新たなスタートです。校舎にも久しぶりに生徒達の声が響き渡り、2学期がはじまったことを実感することができました。

2学期は84日間の1年でもっとも長い学期になります。実りの秋といわれるように、学習面でも生活面でも大きく成長できる学期です。それぞれがどんな自分になりたいのか、目標をしっかりと見据え、日々の行動につなげて欲しいと思います。来週からは生徒会最大の行事である「西鐘祭」の取組も始まります。そこで昨日の始業式では、こんな話を生徒達にしました。ご一読いただければ、幸いです。



夏休みが終わりました。どんな夏休みでしたか。今年も蕪崎西中学校でも多くの部が県総体に出場し、多くの部が上位に入るなど活躍しました。さらに陸上部やバレー部のように昨年に引き続き関東大会に出場した部もありました。特に3年生、これまでの努力が報われてすばらしい経験をし、自信を深めた人もいるでしょう。みなさんの懸命に競技にしている姿を見て、私もとてもうれしくなりました。一方で悔しい思いをたくさんした人がいるかもしれません。でもそれらはすべてみんなのプラスになっているはず。きっとこれからの学校生活にその経験が生きていくことでしょう。

さて、2学期の最初には西鐘祭があります。3年生は最後の学園祭、自分はどんな学園祭にしたいですか。また仲間とどのような学園祭をつくり、後輩達にどのような姿を伝え、伝統をつなげていきたいですか。まずは考え思うことから始めましょう。そして、たとえ上手ではなくても、とにかく自分たちで一生懸命行動してみることが大切です。考えてばかりいて、勇気を出して行動できないのはだめです。考えもせずにとだがむしやらに動くのはもっとだめです。それを「出たとこ勝負」といいます。しっかりとした思いを持ち、先頭に立って行動する、背中で語る3年生に、期待しています。たとえうまくいなくても君たちの一生懸命な姿や行動はきっと周りに伝わるはず。

また多くの人は、がんばっている人を見ると、「よし、俺も私もがんばるぞ」「あの人があんなにがんばっているのだから私も協力しなければ、何か手伝うことはないかな」そんな気持ちになるはず。ぜひそうであってほしい。がんばる人を見て全力で支える、それを言葉で言うと「心意気に感じる」といいます。私がいつも大切にしている言葉です。みなさんもぜひ覚えておいてください。そして「心意気に感じたら」、行動で示してほしい。がんばっている人の話を真剣に聴いて、指示に対しても素早く行動する。大きな返事やあいさつ、拍手で応える。そんな小さなことだけでも、がんばっているその人には大きな支えになるのです。「なにかっこつけてるの」「あんな言い方じゃあ、わからないよ」などと批判するのではなく、一生懸命がんばっている人を「心意気に感じて支える」そんな人になってほしい、西鐘祭を通してそんな人が増えていくことを期待しています。

たくさんの行事がある2学期ですが、それぞれが自分のなりたい姿を思い描き、仲間と支え合い助け合いながら成長する2学期にしてください。

